

「知立市知立市野外センター閉館について」

生涯学習スポーツ課生涯学習係

平成7年4月1日より開館してから野外学習施設として約28年間毎年市内小中学校のこどもたちを見守り育んできましたが、無事その役目を終え、令和5年3月31日閉館をしました。最後は子どもたちと閉所（閉館）セレモニーを行いました。

知立市野外センターは、建設当時、県内に野外活動をする施設が少ない状況であったため、平成7年に主に子どもたちの野外学習をするための施設として長野県伊那市に建設しました。

その後、県内にも多くの県立の野外施設などが整備され、市独自の知立市野外センターを維持していくことの是非が問われ始め、平成28年度から、学校の先生方や保護者の方々からのご意見を頂戴するなどして検討してまいりました。

そうした中、引き続き子どもたちの野外学習の実施にあたり、独自の施設ということで予約に全く困らないというメリットがある一方、県内施設を活用することにより、片道3時間半を要する伊那市での2泊3日の活動が、1泊2日で同様の教育効果が得られるということ、子どもの体調不良時などの際に保護者負担が軽減できることなどのメリットが挙げられたことから、社会教育審議会、教育委員会、総合教育会議を経て、併せて、市民の皆様方へのパブリックコメントを行い、令和3年3月議会に施設の廃止を上程し、令和5年3月31日をもって閉館が決定しました。

また、知立市民に愛されたこの施設も、最後の数年間は新型コロナウイルスの感染拡大により、利用の制限や一時休館等難しい運営が続いたものの、令和4年9月6日には知立市野外センターにて、小中学校最後の山の学習となる知立西小学校児童とともに、閉所（閉館）セレモニーとしてバルーンリリース（風船飛ばし）を実施しました。

なお、この施設は売却することとし、一般競争入札を行い、落札者と契約しました。



閉所（閉館）セレモニーのバルーンリリースの様子